

2019年度 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	学年	2
				コース等	スポーツ
	使用教科書	『改訂 高等学校 地学基礎』 第一学習社		履修単位数	2
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察や実習を通して地学的に探究する。 能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			評価の観点	定期試験を軸に、提出物の評価、地球科学への関心や考察力、授業態度などを総合的に評価する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4 5	第1章 宇宙における地球 第1節 宇宙の構成 第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球	<ul style="list-style-type: none"> ・恒星などの集団である銀河が分布している宇宙について、その誕生と現在のすがたを理解する。 ・恒星の一つである太陽について、表面付近に見られる現象、エネルギー源及び進化について理解する。 ・地球が太陽系の一員として誕生し、生命を生み出す環境を持つ惑星となった過程を理解する。 			
《第1回定期試験》					
6 7 9	第2章 活動する地球 第1節 地球の姿 第2節 火山活動と地震 第3章 移り変わる地球 第1節 地層や岩石と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の形と大きさ、観察や測定の結果などから理解する。 ・地球の内部には層構造があり、その状態が異なることを理解する。 ・プレートの分布と運動の様子や、プレート運動によって大地形がどのように形成されるかについて理解する。 ・火山活動と地震の発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解する。 ・地層が形成される仕組みと地層や岩石にみられる地質構造について理解する。 			
《第2回定期試験》					
9 10 11	第3章 移り変わる地球 第2節 地球環境と生物界の変遷 第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支	<ul style="list-style-type: none"> ・古生物の変遷などに基づいて地質時代が区分されることを及び地球環境がどのように移り変わってきたのか理解する。 ・大気の構造の概要を理解し、地球全体として大気を通して出入りする太陽放射の受熱量と地球放射の放射量がつり合っていることを理解する。 			
《第3回定期試験》					
12 1 2	第4章 大気と海洋 第2節 大気と海洋の運動 第5章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度によって太陽放射の受熱量が異なること及びそのことで生じている大気の大循環や海水の運動により、地球規模で熱が輸送されていることを理解する。 ・人間生活と関連している地球規模の自然環境の変化を科学的に考察する。 ・日本における自然環境が人間生活と深く関わっていることを考察する。 			
《第4回定期試験》					
3					
副教材	・『スクエア最新図説地学』 第一学習社 ・『改訂ネオパルノート地学基礎』 第一学習社				